

本の雑誌社 厄よけ展



オモシロ本を求めて42年



イラスト：沢野ひとし

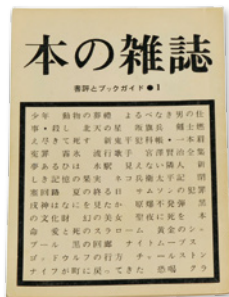
2017.4.22(土) ▶ 6.25(日)

観覧無料

【休館日】 毎週月曜日、5月11日(木)、6月8日(木) 【観覧時間】 10:00~17:00
【特別協力】 本の雑誌社 【協力】 椎名誠 旅する文学館 東京都立多摩図書館

町田市民文学館ことばらんど

「つまらない本に付き合うほど、ぼくらは暇ではないのだ。」



本の雑誌 厄よけ展

オモシロ本を求めて42年



この父にしてこの子あり



「咳をしても一人」は

誰の句だったか？

椎名誠、目黒考二によって1976年4月に創刊された「本の雑誌」。当時は無名だった二人の青年の、活字への熱い思いから生まれました。

活字離れがささやかれる世相を尻目に、それまでは取り上げられることのなかったエンターテインメント作品の書評誌として独自の路線を邁進。本の形や売れ方についてのレポート、読者の自主的参加、匿名座談会、ユニークな特集など独創的な切り口と、椎名や目黒、2号から表紙絵を担当する沢野ひとしをはじめとする個性豊かな執筆陣が魅力となって、本好きの共感を得、人気を博しました。2004年には、前年の座談会が契機となり、書店員が売りたい本を選ぶ「本屋大賞」を創設。本の雑誌社はその事務局としてバックアップを続けています。2015年には「日本の出版文化における独自の存在感」が評価され、第63回菊池寛賞を受賞しました。

本展では、エンターテインメント系書評誌の先駆けである「本の雑誌」の全貌と、多彩な執筆陣、紹介されたオモシロ本の数々を展覧することで“本を読む”ことを考察し、“読書の愉しみ”をお届けします。42年目を迎えた「本の雑誌」。オモシロ本を求め続ける飽くなき情熱で本厄を乗り越えます！



左上：「本の雑誌」創刊号（1976年5月）と創刊40周年特大号（2015年6月号）
 右上：沢野ひとし「本の雑誌」2017年1月号 表紙原画
 左下：吉野朔夫「咳をしても一人は誰の句だったか？」原画
 右下：54号の表紙用紙で作成したが使われなかった角材

【関連イベント】

■講演会・対談・座談会
 ※会場：2階大会議室／定員：80名(申込順)

椎名誠(作家)×目黒考二(エッセイスト) 対談
 「ぼくらはこうやって雑誌を作ってきた」
 日時：5月13日(土) 14:00～15:30
 申込：4月20日(木)12:00から電話で町田市イベントダイヤル(042-724-5656)へ。イベントコード 170420A-A

北上次郎(文芸評論家) 講演会
 「プロの本好きが語る読書のススメ」
 日時：5月20日(土) 14:00～15:30
 申込：4月20日(木)12:00から電話で町田市イベントダイヤル(042-724-5656)へ。イベントコード 170420B-A

坪内祐三(文芸評論家) 講演会
 「『本の雑誌』という雑誌」
 日時：6月3日(土) 14:00～15:30
 申込：5月2日(火)12:00から電話で町田市イベントダイヤル(042-724-5656)へ。イベントコード 170502A

「本の雑誌」編集者による座談会
 「『本の雑誌』ができるまで ～編集ウラ話」
 日時：6月17日(土) 14:00～15:30
 申込：5月16日(火)12:00から電話で町田市イベントダイヤル(042-724-5656)へ。イベントコード 170516A

沢野ひとし(イラストレーター)×木村晋介(弁護士) 対談
 「ぼくらは一緒に大人になった」
 日時：6月24日(土) 14:00～15:30
 申込：5月16日(火)12:00から電話で町田市イベントダイヤル(042-724-5656)へ。イベントコード 170516B

■「本の雑誌」編集者による公開編集会議
 日時：5月14日(日) 15:00～16:00
 会場：2階展示室／定員：25名(当日先着順)／申込不要

■読書会「流動的読書会」
 日時：4月28日(金)、5月26日(金)、6月16日(金)
 いずれも18:00～19:30
 ファシリテーター：武田祐子(ピピのくつした代表、詩人)
 会場：2階展示室／定員：10名(当日先着順)／申込不要

■展示解説

日時：5月9日(火)、28日(日)、6月13日(火)、25日(日)
 いずれも14:00～(30分程度)
 申込不要(直接2階展示室にお集りください)



・JR横濱線「町田駅」ターミナル口から徒歩8分
 ・小田急線「町田駅」東口から徒歩12分

町田市民文学館ことばらんど
 〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17
 TEL 042-739-3420/FAX 042-739-3421